

初の日中韓三国学生交流登山

柵池高原に30人余集い開催

吉永英明・宮崎紘一

この冬、北アルプス北部の柵池に、日本・中国・韓国三国の学生たちが、日本山岳会の呼びかけで集まってくる。相互の交流と雪山研修が目的だ。次代を担う若い人たちの山を舞台にした国際交流の意義は大きい。交流登山の直前、担当の理事にその概要を綴ってもらった。

日本山岳会(JAC)、中国登山協会(CMA)、韓国山岳会(CAC)による三国学生交流登山が2月21日から28日までの日程で、長野・柵池高原を中心に開催される。この交流登山は07年9月、ソウルで「韓国山岳会創立62周年記念式典」が行なわれた際、JAC宮下秀樹会長が、CACの崔弘健会長

とCMA李致新副主席に提案し、2、3年ごとに各国持ち回りで実施していくことで合意し、さっそく実施に移された。第一回は日本で開催することになり、学生部が中心になって準備を進めてきた。次代を担う学生たちが三国の交流登山、親睦を通して国際理解を深めるとともに、わが国の自然と

のふれあいによって、山岳環境保全の大切さを考える機会にしようというのが狙い。あわせて、各国の学生が現状を報告し、抱えている問題を話し合い、今後の登山の活性化に繋げることが期待される。

ベースは早大ヒュッテ

白馬岳周辺で適当な合宿場所を検討した結果、冬山歩行、スキー登山訓練にふさわしい柵池高原・神の田圃にある早大ヒュッテ(標高1700m)を借りることができた。ヒュッテには22日から4泊する予定。

天候や積雪が安定していれば、乗鞍岳(2436m)の登頂を目指す。この会報がお手元に届くころ、学生たちは雪の山で合宿中ということになるのか。

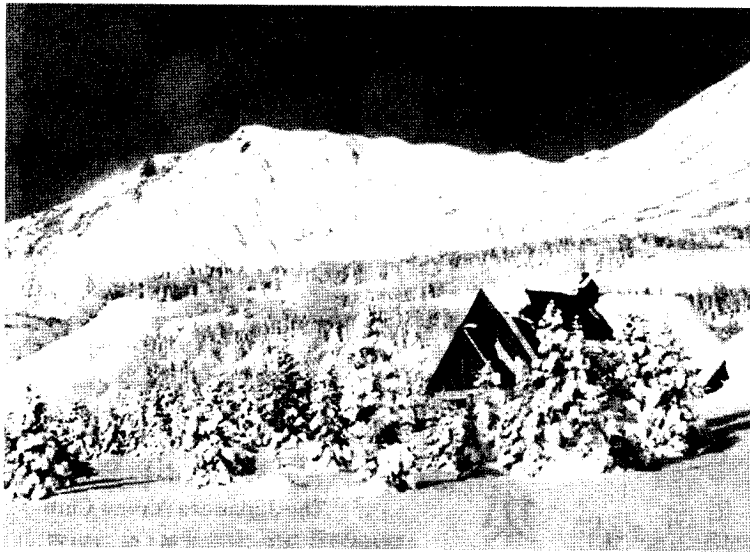
来日するのはCMAから中国地質大学の楊絳梅体育部教師を団長とする同大学の7人(3人が女性)とCMAの顔金安副主席、協会交流部幹部2人の合わせて10人。北京にある中国地質大学は中国教育省に直属し、地質や資源、環境、地学工程技术などを中心に文経法などの学科も有する総合大学で、温家宝首相の出身大学でもある名門。

CACからは漢陽大、ソウル大、梨花女子大など7大学9人の学生とCACの邊裕根副会長ら引率の幹部3人、それに東亜日報の記者も加わる総勢13人だ。韓国の大学山岳部の登山レベルはきわめて高いとされるが、スキー技術の会得や後立山一帯の深い雪の経験に大きな期待を寄せているという。

一方、ホスト側のJAC学生部は立大山岳部の小山さやかさん(4年)ら8大学の10人で、このうち1年生が5人というフレッシュなメンバーだ。各地の主な大学山岳部に参加を呼びかけたが、今回は、結果として東京の大学に限られた。神崎忠男副会長らがアドバイザーとして現地参加する。

合宿・自炊生活で交流

一行の来日は2月21日。成田空港から宿舎の国立オリンピック記念青少年総合センター(東京、代々木)に入って顔合わせし、翌朝、専用バスで梅池高原へ向かう。スキーやワカン、スノーシューで早大ヒュッテに入る予定だが、場合によってはヒュッテ組と麓でのスキー練習組に分かれるケース



梅池・神の田圃にある早大ヒュッテ、後方の山は白馬岳

も考えている。韓国、中国ともスキーは初めてという学生が多いようだ。なお、山スキー用のスキー靴などの調達に当たっては当山岳会同好会アルパインスキークラブの方々にご協力をいただいた。

ご存知のようにヒュッテのある梅池・神の田圃付近は豪雪地である。今年の積雪はそれほど多くないようだが、3層を超えているという(2月14日現在、梅池ゴンドラ山頂駅で280センチ)。2月3日には近くの林間コース(立入り禁止)で、スキーヤーが雪崩に巻き込まれ2人が死亡する事故が起きている。

安全第一、慎重に合宿をこなし、スキーや雪山歩行の技術だけでなく、危険な雪の見分け方、雪洞掘り、雪崩ビーコンの使い方なども習得できるように柔軟なスケジュールを組んでいる。一部はテント生活も体験する予定だ。

なお日本山岳会学生部では、27日夕、関係者も交えてオリンピック記念青少年総合センターで「さよならパーティ」を開き、親睦を深めることにしている。

JACとしては、この東アジア三国学生交流登山のために特別

予算を組み、滞在費や国内での交通費などを計上した。

学生交流登山の歩み

参考までにJACが行なった最近の国際交流学生登山の歩みを振り返ってみよう。

*雪宝頂登山 1999年9月、日中友好20周年記念の「学生友好登山隊」。日本側は宮崎紘一隊長以下9人、中国登山協会側8人。四川省の雪宝頂(5588メートル)に登頂した。関東5大学の、女性1人を含む山岳部員が参加した。

*仁寿峰岩登り登山 2000年10月、韓国学生山岳連盟の協力により、ソウル郊外の北漢山(ブカサン)国立公園にある韓国有数の岩場・仁寿峰(インスボン)で両国の学生らが岩登り訓練を行なった。

*新潟・湯沢でスキー合宿 2001年3月、韓国から女性2人を含む6人が来日し、湯沢スキー場で日本側の10人と交流合宿した。

このほか、大学や山岳会支部、グループ単位で中国、韓国と合同登山が多数行なわれているが割愛する。